

# 誇りを胸に

新潟県教育委員会

令和2年度 魅力と活力ある学校づくり推進事業  
実施報告



～五泉市合同企業説明会の様子～



## 新潟県立村松高等学校

〒959-1704 新潟県五泉市村松甲5545番地  
TEL (0250) 58-6003 FAX (0250) 58-1142

はばた  
～翔け未来へ  
松城健児～



県立村松高等学校  
校長 須藤 浩

本校は、平成30年度から3カ年間、新潟県教育委員会の「明日の新潟の飛躍につながる魅力ある学校づくり推進事業」の実施校として選定されました。なお本事業は、令和2年度からは「魅力と活力ある学校づくり推進事業」として引き継がれました。

この事業のねらいは、新潟県教育委員会が示した「県立高校の将来構想」を実現するために、社会に開かれた教育課程や生徒の夢を叶えさせる進路指導の構築に向けて、調査・研究や企画の運営をする学校を支援することです。

本校は、明治44年、新潟県立村松中学校として設立を認可され、同年4月25日の第1回入学式で新入生72名を迎え、その歴史をスタートさせました。今年、令和3年で110年目を迎える伝統校であります。創立以来、2万1千有余名の卒業生を世に送り出し、歴史と伝統を重ねてきました。明治、大正、昭和、平成そして新しい「令和」へと時代が進展し、社会や価値観が変化しても、本校の歴史と伝統は今日まで脈々と受け継がれてきています。本校の煉瓦造りの正門は、平成20年3月に国の登録有形文化財に登録されており、旧制中学校時代から、威厳高く、どっしりと本校の生徒を見守り続け、同窓の皆様方のシンボルとなっています。また、平成23年には、創立100周年記念事業として、正面玄関前に記念碑を建立し、その正面には「誇りを胸に」、裏面には「創立以来培われてきた

『誠を尽し、志を立て、必ず実行する』という松城精神が先輩から後輩へ受け継がれている」と刻まれています。

現在、本校の生徒の大多数は、五泉市内の4校の中学校（村松桜、五泉、五泉北、川東）の出身であり、地域密着型の高校といえます。本校は現在、各学年2学級、全校で6学級約180名の生徒が在籍します。生徒は様々な悩みや課題を抱えて入学してきます。様々な支援を必要とする生徒も散見されます。学習意欲が乏しく学習の基礎・基本が定着してなく、自己肯定感・自己有用感が持てず、将来の夢や目標も具体的に持てない生徒も見受けられます。

本報告には、そのような生徒の支援・指導に向けて、教職員が、この事業を活用しながら、「地域と連携した特色ある高校」を創り上げ、より一層の魅力と活力ある学校づくりを進めるとともに、一人一人の生徒の悩みや課題に丁寧に関わり添い支援を続け、生徒の未来を生徒自身が切り拓いていけるように、そして地域社会に貢献できる人材の育成に向けて取り組んだ様子です。ご一読いただき、忌憚のないご意見を賜りたく存じます。

最後に本事業の実施にあたりお力添えをいただきました村松・五泉地域の皆様をはじめ関係各位に心より御礼申し上げます。

# 魅力と活力ある学校づくり推進事業

未来の「村松・五泉」  
を支える  
担い手(リーダー)へ

## 3年生

五泉市合同企業説明会の実施(3年生)  
近隣高校とともに就活

夢をかなえる進路実現(3年生)  
進路希望達成率100%を目指します



地域人材に学ぶ取組  
医療・福祉講演会、  
地域や先輩方の先達  
に学ぶ講演会の実施  
(全学年)

## キャリア教育の充実

地域とともに1UP



## 2年生

ポートフォリオの作成(2年生)  
自己管理手帳を活用して成果を積み上げる

マナー講習の実施(2年生)

面接対策講演会と面接指導(2年生)

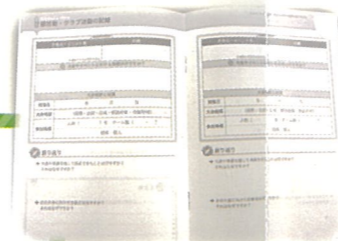
ボランティア講習会の実施(2年生)

ポートフォリオの作成(1年生)  
自己管理手帳を活用して成果を積み上げる

高校生活についての講演会(1年生)  
高校生活の過ごし方や生き方について視野を広げる

上級学校見学(1年生)  
広い視野を持って将来を展望する

## 1年生



新潟県立村松高等学校  
創立110年目に向けてチャレンジ!

平成30年度「明日の新潟の飛躍につながる魅力ある学校づくり推進事業」  
令和元年度「明日の新潟の飛躍につながる魅力ある学校づくり推進事業」  
令和2年度「魅力と活力ある学校づくり推進事業」

テーマ 地域と連携した進路実現を目指して ～地域と共に1up～

目標

これまでの本校の取組を活かしながら、地域人材や地域資源を活用した教育活動の可能性を広げ、地域のニーズに応えた人材育成を目指す。また、計画実施にあたっては、生徒のやる気を引き出し、生徒の夢を叶えさせる進路指導の実践によって、学校の活性化、魅力化につながる教育活動となるよう取り組む。

進路意識の啓発を行うことで、自らの課題を発見し解決に向けた取組ができるよう、総合的な学習の時間の充実を図る。

期待する成果

- ・1年生では講演会や生徒理解調査を実施することで、早期の進路意識の啓発を目指す。
- ・2年生では、インターンシップの事前・事後指導を充実し、進路意識を高めて次年度につなげるようにする。
- ・3年生では自己管理手帳を導入することで、自己の学習内容や経験を蓄積し、学びの価値を再認識できるようにするとともに、企業等説明会・進路ガイダンスの充実を図ることで、一人一人の確実な進路実現に結びつける。

主な取組

1 自己管理手帳の取組

生徒が自分自身の学びの記録の蓄積を一覧することにより、どういう学びのプロセスを経て成長していったかを読み取っていくことができるように実施する。

2 講演会の実施

(1) 新入生進路意識啓発講演会【1年生】

新入生に高校生活の過ごし方を説くことを通して、高校生としての自覚を芽生えさせる。また、自身の生き方・在り方について考えさせる。



(生徒アンケートから)

- ・失敗を恐れることはたくさんあるけど、挑戦していきたいと思いました。また、生きるためにはコミュニケーション能力が必要だなあと今後の高校生活に生かしていきたいです。
- ・あきらめない心を持つこと。焦らずにじっくり前を向いて1歩ずつ踏みしめていくこと。自分なんかだめだと思わないこと。自分を持つこと。学校は失敗してもいいところ。がんばればいつか必ず何かが変わるということ。

(2) 「マナー講習」(インターンシップ事前学習)【2年生】

夏季休業中に行うインターンシップに向けて、マナー全般の重要性を理解させる。

(3) 面接対策講演会【2年生】

就職試験・入学試験における面接の重要性を理解させるとともに、基本的な面接のマナーを身につけさせる。

(生徒アンケートから)

- ・言葉遣い、敬語は大切なんだと改めて分かりました。
- ・人の第一印象は見た目ですべて決まるということをよく知ることができました。
- ・学校や家と違い、社会での活動の仕方が大変だと思いました。
- ・自分ができていない事がたくさんあったので、一つずつ直していきたい。
- ・まだまだ自分で直さないといけないことがあるので、インターンシップで少しでも直せるようにしたいと思った。



(4) 医療・看護系講演会【1・2年生】

医師や看護師の仕事内容や、病院施設における多様な仕事等についてご紹介いただき、生徒自身が進路をより深く考える契機とする。また、地元への就職を希望している生徒はもとより、多くの生徒に地元へ貢献する、あるいは社会へ貢献する意識を醸成させる。

3 上級学校の見学

1年生の早い段階から、大学・短大・専門学校等の上級学校を見学することにより、進路実現のために、進学という選択肢もあることを意識させる。



4 五泉市合同企業説明会

地元企業の職場の雰囲気や事業内容などを理解するとともに、直接卒業生の話を聴くなどして求人票では得られない情報を収集して実際の就職活動に向けて意識を高めさせる。

5 ボランティア活動と地域交流

ボランティア活動を通して地域社会の一員である事を自覚し、生徒がよりよい社会を作るための活動に自主的・自発的に取り組む。



取組の成果

○進路意識の啓発

- ・上級学校を見学することで、卒業後の進路として大学への進学に関心を持つ生徒が僅かに増えた。
- ・医療・看護系講演会では同窓会との連携により、医療従事者である同窓生を講師に招聘して開催することができた。同窓生の講演で進路実現への意欲を増した生徒が多かった。

○地域連携へ関心

- ・同窓会との連携で開催した前述の講演会を地域住民の参加の中で実施することができた。